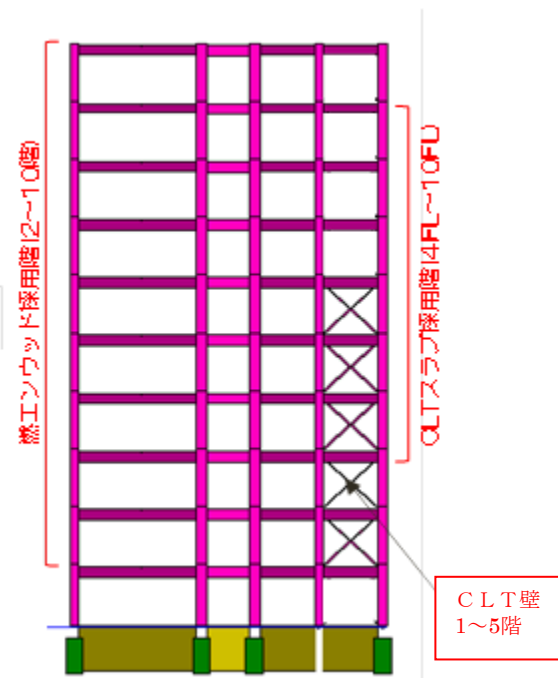


中高層賃貸住宅への CLT床の活用について

～事業者の視点から～

2018年2月15日
三菱地所株式会社 柳瀬 拓也

当社の取り組み



プロジェクト名	(仮称) 泉区高森2丁目プロジェクト		
建設地	宮城県仙台市泉区高森2丁目1番11の一部(地番)		
用途	共同住宅(賃貸用)	主要構造	木造・鉄骨造
敷地面積(m ²)	3,647.04m ²	階数	地上10階
延べ面積(m ²)	3,330.55m ²	建築面積(m ²)	354.96m ²
軒高(m)	32.75m	建設地の地域区分	指定なし
最高の高さ(m)	33.35m	建築物の防火性能	耐火建築物
事業期間	平成30年1月~ 平成31年3月	竣工予定	平成31年2月下旬

なぜ床なのか？

- ・ C L T を効率的に活用するには . . .

- 面材としての特性を活かす

- 中高層を実現するには

⇒ 壁への利用も十分可能

なぜ中高層なのか？

- ・ 代替元の商品は R C ・ S 造

→ 工事費の高騰、工期の長期化

- ・ C L T の強みを最大限に活かす建物形状とは

→ 軽量化

→ 短工期①

なぜ賃貸住宅なのか？

- ・ C L T 製品のポジション

→性能をどう評価するか

- ・ 短工期②

→買主側から見たメリット

見えてきた課題

- ・コスト

→本当のコスト

- ・ユーザーから見た商品価値

→何が刺さるのか・・・

今後の取り組み

- ・コスト低減に向けて

→ 4 者の努力（製造・事業主・設計・施工）

- ・商品の訴求ポイントを明確化